

「3」本部町・さくら・美ら海水族館・北谷アメリカンビレッジ

19:本部町略史

HGV 瀬底は本部町にある。本部の発展は HGV の発展、それはまたタイムシェア所有者のメリット。このように考えると、本部町を知っておく必要もあろう。近年の町史を若干レビューしておこう。

1971 年 上本部飛行場全面返還

75 年本部大橋 開通。

75 年沖縄県の日本復帰を記念し、「沖縄国際海洋博覧会」が開催。同 7 月から 76 年 1 月

⑨本部は本博覧会の会場。内外客で活況。公共工事(道路・港湾など)が進展した。

76 年博覧会跡地に国営沖縄海洋博覧会記念公園(通称・海洋博公園)供用開始。

⑨沖縄県本土復帰を記念した、官製テーマパークだが、年間入場者数はざっと 500 万人。面積 71.6ha。18 ホールゴルフ場の半分の規模。沖縄の観光市場を一変させた感がある。

79 年美ら海水族館開業(現・旧館) ⑨2002 年に新館開業。

81 年 瀬底島に海底送水・送電。

⑨この年にハンビー空港@在日米軍施設キャンプ・フォスター返還。

84 年「観光文化のまち」、観光業を核とした振興政策。

⑨30 年後の 2010 年代には観光業を含むサービス業の従業者が全体の 3 割に。

86 年 瀬底 路線バス 開通

87 年 公園名を「国営沖縄記念公園海洋博覧会地区」に改称、通称は従前どおり。

88 年旧・バンビー空港跡地で新埋立地造成。北谷町・アメリカンビレッジの開発用地となる。

⑨5 年後の 94 年に開業

91 年オリオン嵐山ゴルフ倶楽部開場 11 月

⑨オリオンは沖縄でビールの製造販売 大株主にアサヒビール。

91 年観光客 1 人あたりの滞在中消費額がピーク。9 万 1 千円。

94 年ザ・ビーチゴルフクラブ開業 (株)ザ・ビーチの経営 施工・大成建設 12 ホール

2000 年 北部 振興並びに移設先及び周辺地域振興に関する基本方針策定

02 年美ら海水族館・新館開業

⑨コロナ前は年平均 300 万人。コロナで休館していたが、2022 年度入館者数 216 万人。官製水族館だったが、抜群の集客力がある。

04 年北谷(ちゃたん)アメリカンビレッジの開発が完了 営業開始

06 年沖縄海岸国定公園に編入 ゴルフの街を宣言(7 月 1 日)

06 年ザ・ビーチゴルフクラブ閉鎖(6 月 18 日)。跡地約 40ha に 360 室のホテル建設。

⑨本部町の誘致企業。事業主体:(株)都市デザインシステム(東京都)の関連会社(株)瀬底ビーチリゾート(本部町)。代表取締役は黒田哲二。隈研吾建築都市設計事務所を経て、(株)都市デザインシステム(現 UDS)入社。その後森ビルを経て、UDS 株式会社へ復帰。2020 年 4 月より現職。

08 年 南米移住 100 周年

08 年リーマンショック(グローバル フィナンシャル クライシス)。09 年開業予定の事業規模 300 億円の高級ホテル(360 室)プロジェクトの事業主体・(株)都市デザインシステムが破綻・負債総額 203 億円。以降約 10 年間、現場は崩壊状態のまま放置される。

09 年度の観光客数は前年度比 4%減の 569 万人と 8 年ぶりに減少

10 年那覇市内のホテル「競争が激しくなり、単価が急速に落ち込んだ」

15 年森トラストが同用地買収し、HGV、ヒルトンと業務提携。

16 年「第 4 次本部町総合計画 太陽と海と緑 観光と文化の町」策定

⑨ <https://www.town.motobu.okinawa.jp/application/files/5314/6278/4114/2.pdf>

20-3:本部は情報通信産業特別地区

それはそれとして、気になるのが、情報通信産業特別地区(通称「情報特区」)に隣接の名護市及び宜野座村全域が指定されたこと。この地域に本社をもち、従業員 5 名以上雇用して情報産業を営むと、10 年間、法人所得の 40%を損金算入できるという特典が付く。情報産業とは、データセンター、機器相互接続検証、ソフトウェア受託、システム開発、インテグレーション、組込み、パッケージ、バックアップ、セキュリティデータ、データベース、アプリケーション・サービス・プロバイダ、セキュリティサービスをいう。そう簡単にうまくいくとは思えないが、化ければ、リサーチパークが誕生する。

21:沖縄美ら海水族館

美ら海は「ちゅらうみ」と読む。方言で美しい海の意味。1975 年に開催した海洋博の事業用地(海洋博公園内)



の水族館。当時はその水槽の規模で世界でトップ。現在は一般財団法人沖縄美ら島財団が管理・運営。「黒潮の海」と称する当時世界最大の水槽に育つジンベエザメが話題を集めている。施設詳細はさまざまに紹介があるので本稿では省略する。

沖縄県の人口は 145~146 万人。COVID-19 の影響でだいぶ減少しているが、2022 年の那覇空港の乗降客数 1,376 万人、1 日当たり 3.7 万人。内、国際線が 10.4 万人、日当たり 286 人である。乗+降であるから、実員はこの半分となる。

出典:「令和 4 年空港別乗降客数順位(1~30 位)」国土交通省

那覇空港から水族館までレンタカーを使って片道約 2 時間。バスだけで行こうとすると、空港からの往復に 4 時間、マルマル 1 日は必要だ。

そのうえで注目すべきは入館者数。COVID-19 流行前は年間 300 万人超が入館した。2018 年 10 月 3 日に海洋博公園入園者数が延べ 1 億人達成したとのことだが、観光統計はあてにならない場合もある。

しかし美ら海水族館は有料なので、チケットの発売枚数を基礎にカウントするであろうから、信じることにしよう。

出典

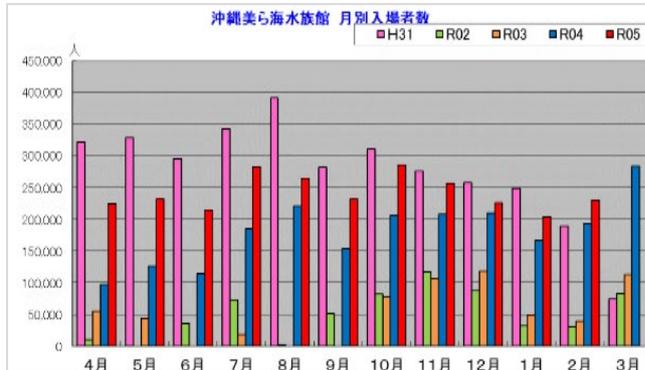
<https://www.dc.ogb.go.jp/kouen/ocean/riyousha.html>

出典

左画像上・中・下:2024 年 3 月 25 日撮影。美ら海水族館館内抄。

美ら海水族館の集客力は東京ディズニー(事業者はオリエンタルランド)と比較するとよくわかる。2022 年の入場者は 2,208 万人、その後背地の 1 都 3 県の人口は 3,581 万人(2020 年)、羽田空港の乗降客は 5,042 万人、成田が 1,375 万人である。それを考慮すると、子供もおとなも、美ら海水族館のジンベエザメはとても魅力的とのことで、圧倒的な支持があることになる。た

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成31年度	44.8	45.3	39.1	48.6	52.7	37.7	41.3	36.2	33.9	35.7	27.7	11.9
令和2年度	2.4	0	6.7	12.2	3.0	8.6	13.7	16.9	12.6	7	7.3	13.4
令和3年度	9.8	8.6	2	3.4	1.3	1	10.9	14.1	15.2	7.2	6.4	15.3
令和4年度	13.4	16.2	15	23.2	28.6	19.5	26.1	26	25.1	22	24.1	34.7
令和5年度	28.3	28.9	25.3	35.3	30.7	27.3	33.4	30.4	26.4	25.5	28.6	



施設名	入場者	後背地人口	空港	乗降客数	内国際線
美ら海水族館	300	161	那覇	1,376	10
TDL+TDS	2,208	3,581	羽田+成田	042+1,375	403+737

⑧TDL東京ディズニーランド+TDS東京ディズニーシー
 出典：乗降客数は前掲、入場者数は事業者・後背地人口は沖縄県・1都3県の各HP。
 2022歴年数値、概数、単位万人、COVID-19の影響で平常よりは少ない数値である

規制クリアはお手の物。71.6 ヘクタールと 18H ゴルフ場の約半分の用地を自在に活用、アップダウンにはエスカレーター・エレベーターで対応しながら、そこに7つの施設を点在させた。

例の沖縄美ら海水族館(有料)はじめ、エメラルドビーチ(遊泳無料)、おきなわ郷土村、おもしろ植物園、海洋文化館、熱帯ドリームセンター、熱帯・亜熱帯都市緑化植物園。

全施設をある程度まんべんなく入館し見学するとなると、1日では難しい。歩くだけでも覚悟が必要で、園内には有料の定期バスが運行されているし、地元・本部町にも様々な価格帯の宿泊施設が少なからず存在する。むしろ、HGV 瀬底の排他的(一般客利用不可)・優位性は不変である。

76年開園時に約54万人弱が17年には500万人を記録した。年間平均300万人の入館者がある(前掲参照)。要は国営ながら、立派な成績である。80年代後半でも、夏のビーチが終わると「ひめゆり」巡り、主力客層が大幅に変化し、夏のディスコホールをどう使おうかとか話題になっていた。しかし、この公園、とりわけ水族館は、通年の人気を維持し、沖縄の観光(tour)を大きく変えてしまった。

入館料を払うと、略図のついた簡単なリーフレットを渡される。



だし、運転免許も孫もない筆者には理解しがたい部分である。

HGV 瀬底から水族館へはクルマなら容易に行けるが、バスとなると複雑で、筆者もよくわからない。

現地で聞くにしても、地名や路線名が読めない。また、現地のスタッフが東京からのアルバイトとする方言は不明と回答が来る。よほど丁寧な予習が必要である。

22:海洋博公園

前掲の沖縄美ら海水族館は、国営沖縄海洋博覧会記念公園の一施設である。この公園は海洋博覧会地区(本部町)と、首里城地区(那覇市)に設置され、水族館は本部町の海洋博覧会地区、通称「海洋博公園」のなかにある。

事業主体は内閣府沖縄総合事務局、管理運営の委託先は一般財団法人沖縄美ら島財団である。とにかく広い。開発主体が国ならば、海岸法や公有水面埋立法による海浜地の開発規

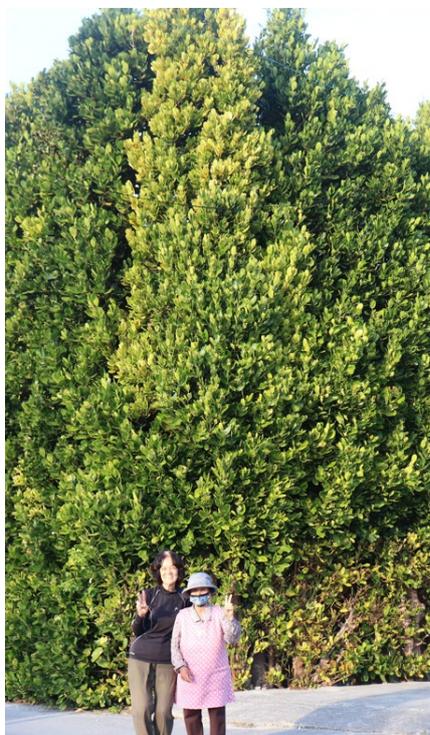


この図は実物を拡大しているが、事前の予習がないと、公園の全貌はなかなか理解できない。美ら海水族館は中央やや右側にあるけれども、この図だけでは高低差はわからない。公園全体にアップダウンがあるが、実は、この水族館だけでも4層からなり、水槽だけでも大小77ある。すべていねいに見て歩くとなると、よほどの時間が必要になる。

そこで運営受託の任にある財団は、海洋博公園全体を対象とした、所要時間 3 時間(朝から・昼からコース)～6 時間(1 日満喫)を要するモデルコースを提案している。

<https://oki-park.jp/kaiyohaku/modelcourse/>

ジンベエザメやが泳ぐ沖縄美ら海水族館(90 分)→8 分(電気遊覧車にて移動)→エメラルドビーチ(30 分)→5 分(同)→東シナ海を一望するレストランイノー(60 分)→(徒歩)→イルカショーのオキちゃん劇場(30 分)→8 分(電気遊覧車)→2000 株のランがある熱帯ドリームセンター(60 分)→(徒歩)→琉球王国時代のおきなわ郷土村(30 分)→5 分(徒歩)→海洋文化館・プラネタリウム(60 分)→GOAL というものである。



23: フクギ並木

リゾートは自然の地形(開発用地)に建物などの人工物を組み合わせて成立する。自然だけでは利用可能状態になりにくい。逆に、リゾート客(滞在客)にとって、ほぼ自然だけで成り立つ訪問対象は、滞在期間を有意義に過ごす素材として、貴重である。ビーチはその典型だ。そのビーチの最大の敵は「曇天」「雨天」である。

その点、人工物の比重が高い美ら海公園(含・水族館)はビーチの補完となるので有益である。東京や大阪では熱帯植物園でも行かない限りお目にかかれない樹木に「フクギ」がある。福木の字を充てるので縁起が良い。

フィリピンに植生し、広くはマンゴの仲間だが、残念ながら果実は美味ではなさそうだ。ただ、昔から、黄いろの染料として琉球紬に使われたり、緑の壁のようになるので、沿岸の防風・防潮の保安林の役割を担う。役に立つので、なかには樹齢 300 年を経た樹木もある。

「備瀬(びせ)のフクギ並木」は HGV 瀬底から約 10 キロ、クルマで約 20 分の海岸沿いにある。伊江島を眺める備瀬岬に至る片道1キロ、歩いて 30 分ほどの小さな径の両側が並木である。濃い緑の葉が作り出す木陰の空間を歩いて、樹木浴、フクギ浴をすると、すごく楽しくなると、「沖縄ラポ」では薦める(以下の URL)。並木道にはちょっとしたカフェやレストラン、それから「サイクリングや水牛車で森林浴、伊江島の塔頭(たっちゅう)に沈む夕日など」もあるので、日柄過ごすスポットにもなりそうだ。



出典

左画像上・中・下: 2024 年 3 月 25 日撮影

なお、以下の HP 参照。

<https://okinawa-labo.com/fukuginamiki-sightseeing-20007>

<https://www.instagram.com/bise.water.buffalo/>



24: 北谷(ちゃたん)のアメリカビレッジ



アメリカンビレッジとは、那覇市の北、北谷町美浜にある「リゾート」、ないしは US の雰囲気のコピーした「テーマパーク」あるいは「ショッピング」「エンターテインメント」空間でもある。北谷町商工会が、2017 年に中小企業庁に提出した「経営発達支援計画の概要」には、「年間集客数は約 830 万人に達し、アメリカンビレッジ内駐車場利用数の約 6%はレンタカー」とあるが、集客数は集計方法が不詳ゆえに、また調査年がはっきりしないので、本当のところはわからない。

しかしながら、繁栄している様子は見て取れる。瀬底ヒルトンのある開発用地も、アメリカンビレッジのような方向に向かっていくかもしれない。そういう期待を含めて HGV を購入される向きもあろう。

ちなみに、平成 30 年沖縄県「宿泊施設実態調査」によれば、北谷町(恩納村)の客室数 2,060 (4,963)、県内シェア 4.16%(10.01%)、宿泊施設収容人数 6,326(17,371)、同シェア 4.78%(13.12%)。北谷は恩納を追う立場にあり、調査時点では、ダブルツリーby ヒルトン沖縄北谷リゾート、リンクスホテル、ラ・ジエント・ホテル沖縄北谷、ココシヤモンパなどが新規に開業している。

上と左の画像は、おきなわ物語(沖縄県観光情報 WEB サイト)から引用したのだが、上は「美浜イルミネーション 2021 クリスマスイルミネーション」が開催中「クリスマスモード一色の街並みは、この時期にか味わえない幻想的な雰囲気」と紹介している。

今後に予想される島内競争の激化から、「長崎・オランダ村」の二の舞いにならないければ・・・と心配もしないではないが、盛業を祈る次第である。

出典

左図上・中:2024 年 3 月 26 日および 3 月 27 日に撮影

左図下。

<https://www.okinawastory.jp/news/tourism/3837>



北谷町『北谷町アメリカンビレッジMAP』から。

出典: <https://www.okinawa-americanvillage.com/areamap/>

25: 沖縄北部にテーマパーク・JUNGLIA ジャングリア

(株)ジャパンエンターテインメントが、旧オリオン嵐山ゴルフクラブ(22年3月営業終了)の事業用地にテーマパークを設置する。開業が2025年目標である。面積はゴルフ場跡地約60Haであるから、18Hの約半分に該当する。



瀬底ヒルトンから16km、20数分の距離にある。地元の名桜大学国際学部にて国際観光産業学科を新設して、観光関連の人材育成を目指して提携する。現場実習などの授業科目を設けるかと思われる。

森岡毅のプロデュースによる。(株)刀のこただから精緻なモデルで事業化可能性を検討したであろう。オリオンビールやリウボウ百貨店、近鉄・JTBなども資本参加するようだ。

気になるのは供給過剰である。すでに触れたように、沖縄の後背地人口も沖縄空港の座席数も限られる。ハワイで検証できるように、宿泊のベッド数と空路の延べ座席数とは密接な関係がある。アジアの成長はOECDもIMFも認めるところだが、森岡は「沖縄から4時間圏内に20億人がある」と強気のように(日経・読売など各紙)。仮にその通りとしても、島内では琉球来訪客の取り合い・食い合い(Cannibalization)は起きかねない。

もちろん、うまいければHGV瀬底の値打ちにもプラスになる。万が一が不首尾でも、HGV瀬底の値打ちが減るわけではない。

左図上: Google Map から。

左図下: <https://junglia.jp/> プロモーション動画の一部から。



26:瀬底ビーチの行く末

HILTON 瀬底周辺の開発用地は、森トラストが所有する。森トラストは沖縄には熱心である。森トラストが投資して、HILTON が運営する。WIN-WIN の関係を構築していると推定する。

瀬底ビーチは、アメリカンビレッジのようなテーマパーク風空間になるか、ANA 万座のようにホテル主体のビーチ空間になるのか、あるいはまったく別の空間が企画されるか、いずれにしても、HGV 瀬底の所有者にとっては、楽しみなことであろう。

⑨本稿作成に当たっては沖縄県立図書館の郷土資料室の蔵書を参考にさせていただいた。同資料室は那覇市泉崎のバスセンターのあるビルの5階にあり、琉球・沖縄関係の資料は35万点あるとのこと。司書の応対も施設同様に秀逸であった。

また、本稿の文責は大谷毅(弊協会理事・信州大学名誉教授)・今泉陽一(同常務理事・事務局長)にあり、かつ、両者の主観で叙述したもので、弊協会の公式な見解ではない。誤謬などを発見されたら、ご教示をいただければ幸甚の至りである。